



記事モジュールの拡張設定資料

1. 基本設定

- 1-1 拡張項目の設定箇所
- 1-2 拡張項目(各項目設定以外)
- 1-3 設定項目
- 1-4 入力制限について
- 1-5 グループ化の設定方法

2. 各項目別の設定方法

- 2-1 選択形式
- 2-2 複数選択(チェックボックス)
- 2-3 画像
- 2-4 表組(テーブル)
- 2-5 関連情報選択
- 2-6 WysiWygエディタ
- 2-6 ファイル

3. テンプレート上の表記方法(単品表示)

- 3-1 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・日付・html
- 3-2 選択形式
- 3-3 画像
- 3-4 複数選択(チェックボックス)
- 3-5 リンク
- 3-6 都道府県
- 3-7 ファイル
- 3-8 テーブル
- 3-9 地図
- 3-10 関連情報
- 3-11 音声ファイル

4. テンプレート上の表記方法(グループ表示)

- 4-1 基本形サンプル
- 4-2 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・複数選択・日付・都道府県・html
- 4-3 選択形式
- 4-4 画像
- 4-5 リンク
- 4-6 ファイル
- 4-7 テーブル
- 4-8 地図
- 4-9 関連情報
- 4-10 音声ファイル

5. 入力があったら表示させる方法

- 5-1 単品表示の時
- 5-2 グループ表示の時

1. 基本設定

1-1 拡張項目の設定箇所

記事グループ一覧

コンテンツ更新 >> 記事 >> 記事グループ一覧

---公開状況--- ▼ 検索

4件中 1-4件目 1

<input type="checkbox"/>	公開	グループID	グループ名	並び順	最終更新日
<input type="checkbox"/>	✓	1	トピックス ja en	記事作成 記事一覧 設定 ① 0	2014/06/18(水) 12:22:50
<input type="checkbox"/>	✓	2	Sample ja en	記事作成 記事一覧 設定 0	2012/02/09(木) 18:55:21

①[コンテンツ更新]>[記事]>拡張項目を設定したい記事グループの[設定]をクリックします。

トピックス記事グループ編集

コンテンツ更新 >> 記事 >> 記事グループ一覧 >> 記事グループ編集

コピー + グループ追加 更新履歴

記事グループ 記事一覧 記事編集 カテゴリ設定 アップロード ダウンロード

日本語 (作成済) 英語 (未作成) 翻訳者へ依頼する

グループID 1

グループ名 必須 トピックス

概要

並び順(大きい方が上) 0

記事に設定できるカテゴリ数 1 ☀ カテゴリを3個まで増やせます。デフォルトは1個です。

拡張項目 設定する ②

②[設定する]をクリックして、拡張項目の設定を開きます。

1. 基本設定

1-2 拡張設定(各項目設定以外)

▼ 管理画面(/topics/topics_group_edit/)

拡張項目

日付を利用しない ① ☐有効にする

投稿時間も設定する ② ☐有効にする

③ ☒WYSIWYG ☐テキストエリア ☐Wysiwygが拡張項目かを選択 ☐利用しない

本文の入力方法

④ wysiwyg_options:

■ 日付を利用しない→OFF・投稿時間も設定する→ON の場合

シーズン 必須 2013

日付 必須 2014/06/19 時刻: 16 : 50

■ 日付を利用しない→ON の場合

記事グループ 記事一覧 記事編集 カテゴリ設定 アップロード

--年度-- --カテゴリ-- --公開状況-- キーワード: 検索

2件中 1-2件目 1

<input type="checkbox"/>	公開	トピックスID	表示順	タイトル	カテゴリ
<input type="checkbox"/>	✓	5	① 100	ページ送り	記事
<input type="checkbox"/>	✓	1	95	おめでとうございます。サイト開設が完了しました！	記事

- ① 日付を利用しない: 記事に日付情報を持たず、並び順は表示順で制御する場合はON
- ② 投稿時間も設定する: 記事に日付情報を持たせた場合(上記項目でONでない場合)に日付とあわせて記事に時間情報も持たせる場合はON
- ③ 本文の入力方法: WYSIWYG・テキストエリア・Wysiwygが拡張項目かを選択・利用しないから選択
- ④ wysiwyg_options: 追加で設定したい項目
※「2-6 Wysiwygエディタ」参照

■ 本文の入力方法→WYSIWYG を選択した場合

内容をテキストで書く 外部リンク・PDFにする

国 ソース 画像を記事に貼り付ける リンク挿入編集 フォント 色...

B I U

1. 基本設定

1-3 設定項目

記事の拡張には、以下の項目を設定することができます。設定できる項目数は30個です。

- ・テキスト
- ・テキストエリア
- ・Wysiwyg
- ・選択形式
- ・複数選択(チェックボックス)
- ・画像
- ・リンク
- ・日付
- ・都道府県
- ・ファイル
- ・表組み(テーブル)
- ・地図
- ・関連情報選択
- ・html
- ・音声ファイル
- ・グラフ

ID	親項目	項目名 注釈	設定項目	入力制 限	並び順(大きい方 が上)
01	選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: 店名 注釈:	① テキスト 選択なし テキスト テキストエリア Wysiwyg 選択形式 複数選択(チェックボックス) 画像 リンク 日付 都道府県 ファイル 表組み(テーブル) 地図 関連情報選択 html 音声ファイル グラフ	② 入力	900
⑤ 02	⑤ 選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	④ 項目名: 住所 注釈:		入力	890
03	選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: 電話番号 注釈:		入力	880
04	選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: URL 注釈:		入力	0
05	選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: 写真 注釈:	③ 画像 width::400 height::300	入力	
	選択なし ▾ を親項目 にする	項目名:	選択なし		

- ①入力項目の形式を設定してください。(詳細は次ページで説明)
- ②必須で入力させたい場合は、[入力]をクリックして、必須設定に チェックを入れてください。
設定項目がテキストの場合は、入力制限や文字数制限も設定できます。
- ③項目によっては、詳細な設定が必要なものもあります。(2.各項目の設定方法 を参照)
- ④注釈を入力しておくと、記事入力画面に表示されます。
- ⑤拡張項目のIDは、表示の際に必要になってきます。(3.テンプレート上の表記方法 を参照)

1. 基本設定

1-4 入力制限について


入力制限は設定項目によって異なります。

ID	親項目	項目名 注釈	設定項目	入力制限	並び順(大きい方が上)
01	選択なし ▼ を親 項目にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: 説明文 注釈:	テキストエリア <div></div>	<div>入力</div>	500

💡 記事編集時に、入力フォームを変更したい場合は入力してください。

▼ 入力制限設定ウィンドウ

入力制限設定


 ■ 必須設定
☐ 必須

OK Cancel

■ 必須設定のみ

- テキストエリア
- Wysiwyg
- 選択形式
- 複数選択(チェックボックス)
- 画像
- リンク
- 日付
- 都道府県

入力制限設定

 ■ 必須設定
☐ 必須


■ 許可するタグ
☐ script

OK Cancel

■ 必須設定／許可するタグ

- html

入力制限設定

 ■ 必須設定
☐ 必須

■ 入力制限
☐ 制限なし
☐ メールアドレス
☐ TEL
☐ 郵便番号
☐ URL
☐ 数値
☐ 正規表現

min: max:

OK Cancel

■ 必須設定／文字数制限

- テキスト
- テキスト(オートコンプリート)

1. 基本設定

1-5 グループ化の設定方法

同じ項目を繰り返し入力したい時は、親項目を決めてグループ化させると便利です。

(例)「店名」・「住所」・「電話番号」・「URL」・「写真」を複数回入力したい

 Pizza Diverta 東京都新宿区〇〇〇14-3-3 03-1111-1111 http://△△△△△△△△△△	<table border="1"><thead><tr><th>ID</th><th>親項目</th><th>項目名 注釈</th><th>設定項目</th><th>入力制 限</th><th>並び順(大きい方 が上)</th></tr></thead><tbody><tr><td>01</td><td>② 選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾</td><td>項目名: 店名 注釈:</td><td>テキスト []</td><td>入力 []</td><td>900</td></tr><tr><td>02</td><td>① 選択なし ▾ を親項目 にする 店名 住所 電話番号 URL を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾</td><td>項目名: 住所 注釈:</td><td>テキスト []</td><td>入力 []</td><td>890</td></tr><tr><td>03</td><td></td><td>項目名: 電話番号 注釈:</td><td>テキスト []</td><td>入力 []</td><td>880</td></tr><tr><td>04</td><td>店名 ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾</td><td>項目名: URL 注釈:</td><td>テキスト []</td><td>入力 []</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>店名 ▾ を親項目 にする</td><td>項目名:</td><td>画像 []</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	ID	親項目	項目名 注釈	設定項目	入力制 限	並び順(大きい方 が上)	01	② 選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: 店名 注釈:	テキスト []	入力 []	900	02	① 選択なし ▾ を親項目 にする 店名 住所 電話番号 URL を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: 住所 注釈:	テキスト []	入力 []	890	03		項目名: 電話番号 注釈:	テキスト []	入力 []	880	04	店名 ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: URL 注釈:	テキスト []	入力 []	0		店名 ▾ を親項目 にする	項目名:	画像 []		
ID	親項目	項目名 注釈	設定項目	入力制 限	並び順(大きい方 が上)																																
01	② 選択なし ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: 店名 注釈:	テキスト []	入力 []	900																																
02	① 選択なし ▾ を親項目 にする 店名 住所 電話番号 URL を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: 住所 注釈:	テキスト []	入力 []	890																																
03		項目名: 電話番号 注釈:	テキスト []	入力 []	880																																
04	店名 ▾ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▾	項目名: URL 注釈:	テキスト []	入力 []	0																																
	店名 ▾ を親項目 にする	項目名:	画像 []																																		

まず、繰り返し入力したい項目を全て設定してください。

ここでは、「店名」・「住所」・「電話番号」・「URL」・「写真」の各項目を設定します。

①その後、親項目を指定します。親項目は、必ず入力するものにしてください。ここでは「店名」を親項目にしました。

②親項目には、繰り返しの回数を指定してください。最高30回までです。

2. 各項目別の設定方法

2-1 選択形式

プルダウン形式の入力項目を設定できます。[キー]::[値] の形で入力してください。

(例)

apple::リンゴ
orange::オレンジ
banana::default::バナナ

※ [キー] と [値] の間に default を入れると
入力画面でその値がデフォルトで選択されます。
※ [キー] は 重複しないこと。

【設定画面】

The screenshot shows a settings interface. On the left, there's a sidebar with '04' and '選択なし' (No selection) with a dropdown arrow, '項目にする' (Make item), and '繰り返し回数: 1' (Repeat count: 1). The main area has '項目名:' (Item name) with '果物' (Fruit) entered, and '注釈:' (Remarks). A dropdown menu titled '選択形式' (Selection format) is open, showing the configuration: 'apple::リンゴ', 'orange::オレンジ', and 'banana::default::バナナ'. To the right of the dropdown are buttons '入力' (Input) and '870'.

【入力画面】

The screenshot shows an input form. The '果物' (Fruit) field has a dropdown menu open, showing options: 'バナナ' (Banana), '選択なし' (No selection), 'リンゴ' (Apple), 'オレンジ' (Orange), and 'バナナ' (Banana). A '択する' (Select) button is next to the dropdown. The '写真' (Photo) field is visible below.

2. 各項目別の設定方法

2-2 複数選択(チェックボックス)

チェックボックス形式の入力項目を設定できます。[キー]::[値] の形で入力してください。

(例)

```
apple::リンゴ  
orange::オレンジ  
banana::バナナ  
separator::<br>
```

※[キー] は 重複しないこと。

※ [separator::
]を設定すると、入力画面でチェックボックスが縦に並びます。

[設定画面]



[入力画面]



2. 各項目別の設定方法

2-3 画像

画像の高さと幅を、3サイズまで設定できます。

1つの画像を登録すると、設定した3サイズの画像が自動で作られます。

登録可能な画像は、GIF・JPEG・PNG です。

キャプション入力欄の設定もできます。

(例)

width_L::400

height_L::300

width::200

height::150

width_S::100

height_S::75

ext_no_image_explain::1

※何も設定しないと、登録する画像のサイズそのままに登録されます。

※1サイズで構わない時は、width::幅 height::高さ のみ設定してください。

※画像の縦横比は変更されません。

左の設定をして、縦500・横500 の画像を登録すると

縦300・横300、縦150・横150、縦75・横75 の3サイズが自動生成されます。

※ext_no_image_explain::1 を設定すると、キャプション入力欄が表示されません。

05 選択なし ▾ を親項目にする
繰り返し回数: 1 ▾

項目名: 写真
注釈:

画像
width_L::400
height_L::300
width::200
height::150
width_S::100
height_S::75

2. 各項目別の設定方法

2-4 表組み(テーブル)

テーブルの行数、列数、セルの値などを設定できます。セルの設定は[行番号－列番号]です。
2-3 は、上から2行目・左から3列目のセルになります。

(例)

rows::5

cols::3

hide_cols::2,3

1-1TH::1

1-2TH::1

1-3TH::1

1-1LOCK::1

1-2LOCK::1

1-3LOCK::1

1-1::商品名

1-2::数量

1-3::価格

※row::5 行の数です。

※col::3 列の数です。

※hide_cols::2 入力がない場合、非表示にする列を指定できます。
複数の列を指定するには、「1,3,5」のように「,」で区切ります。

※1-1TH::1 セルのタグが<th> になります。

※1-1LOCK::1 セルの値を変更できないようになります。

※1-1::商品名 セルをLOCKした時に、表示させる値です。

[入力画面]

テーブル	商品名	数量	価格
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

2. 各項目別の設定方法

2-5 関連情報選択

他のモジュールのコンテンツを、関連情報として選択できるように設定します。

module::モジュール名 の形で設定してください。

(例)

module::topics

group_id::9

※ 対応モジュール名

topics(記事)、staticcontents(自由HTML)、member(メンバー) の3つです。

※ group_id::記事グループID は、topics 時のみ設定可能です。

[設定画面]

14 選択なし
を親項目にする
繰り返し回数: 1

項目名: 関連情報
注釈:

関連情報選択
module::topics
group_id::9

入力 310

[入力画面]

商品マスター

<選択なし>
--シーズン-- --月-- 果物

選択

リンゴ
オレンジ
バナナ
グレープフルーツ
イチゴ

2. 各項目別の設定方法

2-6 Wysiwygエディタ

色や大きさ、ツールバーなどをカスタマイズできます。

(例)

```
uiColor::#ff0000
```

```
width::450
```

```
height::300
```

```
removePlugins::font,format
```

```
toolbar::basic
```

← 色指定 (red などの文字指定でも大丈夫です)

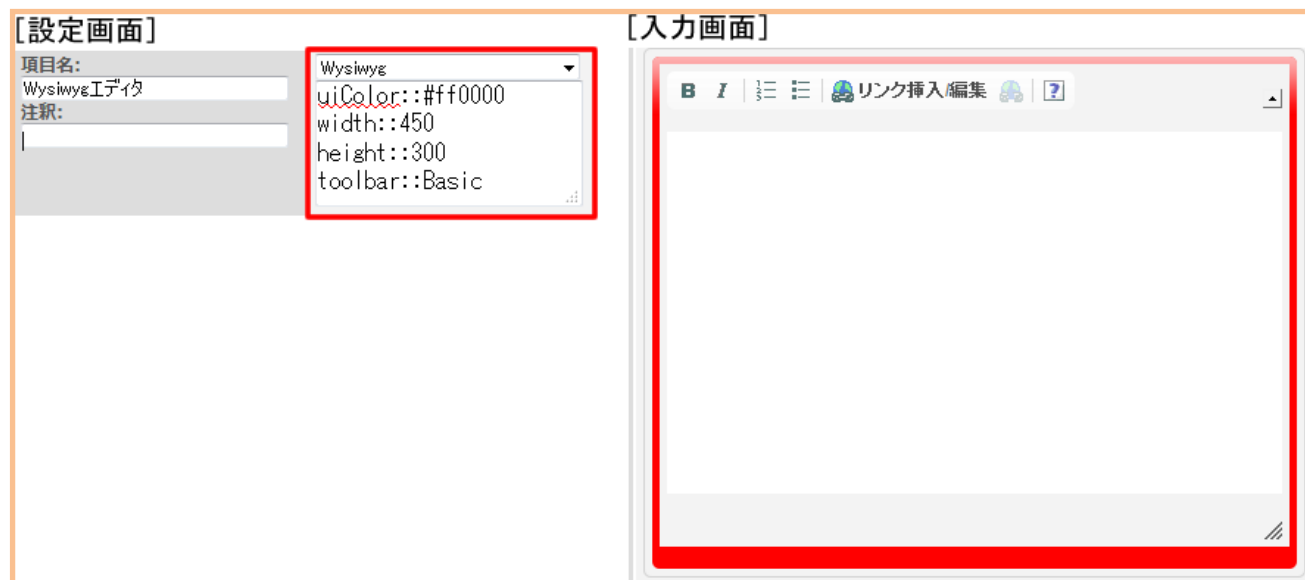
← 幅

← 高さ

← ツールバーから不要なものを削除

← ツールバーがシンプルなものになります

※設定できる項目 http://docs.cksource.com/ckeditor_api/symbols/CKEDITOR.config.html



2. 各項目別の設定方法

2-7 ファイル

ファイルを設定します。形式を指定して特定のファイルのみアップロードすることも可能です。

(例)

```
file_type::*.jpg;*.gif;*.png;  
ext_no_file_name::1
```

← ファイルタイプを指定

← 「ファイル名」入力欄を非表示にします。

[設定画面]

11 選択なし ▼ を親
項目にする
繰り返し回数: 1 ▼

項目名: ファイル
注釈: jpg, gif, pngのみアップロード可能

ファイル
file_type::*.jpg;*.gif;*.png;
ext_no_file_name=1
入力 10

💡 記事編集時に、入力フォームを変更したい場合は入力してください。

[入力画面]

ファイル
↑ 画像を選択する
ファイル名: GoogleAnalytics
💡 jpg, gif, pngのみアップロード可能

ファイル
↑ 画像を選択する
💡 jpg, gif, pngのみアップロード可能

[ext_no_file_name::1]を指定していない場合

3. テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-1 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・日付・html

```
{${topicsData.ext_col_01}}
```

```
{${topicsData.ext_col_01|nl2br}}
```

① 赤の数字は、拡張項目のIDです。

※後ろに |nl2br をつけると、変数内の全ての改行文字を
タグに置換します。
テキストエリアの時に使用してください。

① ID	親項目	項目名 注釈	設定項目
01	選択なし にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: お名前 注釈:	テキスト ▼ <div></div>
02	選択なし にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: 一言メッセージ 注釈:	テキストエリア ▼ <div></div>

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-2 選択形式

```
{$topicsData.ext_col_04}
```

(←左側の値)

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'}
```

(←右側の値)

The screenshot shows a web form with a dropdown menu labeled '選択なし' (No selection) and a button 'を親項目にする' (Make parent item). Below the dropdown is a label '繰り返し回数: 1' (Repeat count: 1). To the right, there is a section titled '項目名:' (Item name) with a text input field containing '果物' (Fruit), and a section titled '注釈:' (Remarks) with a text input field. Further right, there is a section titled '選択形式' (Selection form) with a dropdown menu showing a list of items: 'apple::リンゴ' (apple::apple), 'orange::オレンジ' (orange::orange), and 'banana::default::バナナ' (banana::default::banana). A red box highlights the number '04' in the dropdown menu, and a red circle highlights the number '1' in the repeat count field.

① 赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)を value と指定してください。

リンゴを選択している場合は、下記のように表示されます。

```
{$topicsData.ext_col_04} → apple
```

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'} → リンゴ
```

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-3 画像

```
  
  

```

選択なし
する

①
05

項目名:
写真

注釈:

画像

width_L::400
height_L::300
width::200
height::150
width_S::100
height_S::75

①赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)をサイズごとに「url」「url_S」「url_L」と変更してください。

※「画像の説明」の表記方法は 3-1テキストエリアと同じで { \$topicsData.ext_col_05|nl2br} です。

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

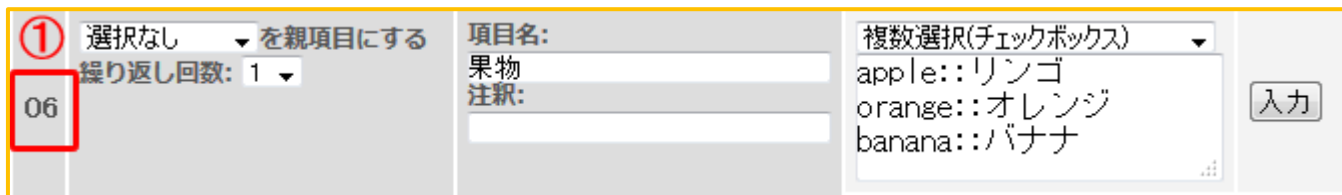
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-4 複数選択（チェックボックス）①

◆選択されたものを表示

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='06' ext_type='value'}  
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='06' ext_type='value'  
separator="<br>" }
```



①赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)を value と指定してください。

※separator=" " を追加すると、区切りの表示を指定できます。指定がない場合は「/」区切りです。

(例) 【指定なし】 リンゴ/オレンジ/バナナ

【 separator = "・" 】 リンゴ・オレンジ・バナナ

【 separator = "
" 】
リンゴ
オレンジ
バナナ

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-4 複数選択（チェックボックス）②

◆すべて表示させて選択済みのものにだけ class を付与

```
{foreach from=$extensions_config item=ext_config}
  {if $ext_config.no eq 06}
    {foreach from=$ext_config.options key=key item=item}
      <p{if $row.ext_col_06|rcms_str_exists:$key}
class="on"{/if}>{$item}</p>
    {/foreach}
  {/if}
{/foreach}
```

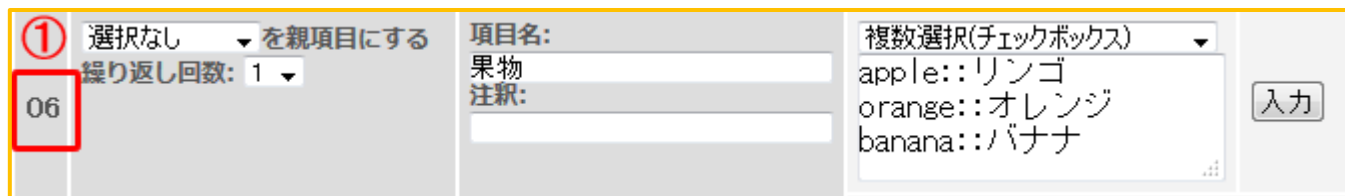
※必ずページ設定のパラメータに ext_config_flg=1
を設定してください！

オレンジを選択していたら

```
<p>リンゴ</p>
<p class="on">オレンジ</p>
<p>バナナ</p>
```

となります。

①赤の数字は、拡張項目のIDです。



※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-5 リンク

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='07' ext_type='url'}  
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='07' ext_type='value'}
```

(← url)

(← title)

赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)を、「url」とすると url が
「value」とすると title が表示されます。

【入力画面】

url:

← url

title:

← value

※タイトルにURLのリンクを貼りたい時は

```
<a href="{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='07' ext_type='url'}">{assign_topics_ext  
print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='07' ext_type='value'}</a>
```

となります。

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】

\$topicsData

【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】

\$row

【一覧 ヘッドライン5行】

\$topicsList[mydata]

【関連記事】

\$row

3. テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-6 都道府県

```
{$topicsData.ext_col_09}
```

（← value）

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='09' ext_type='value'}
```

（← 県名）

赤の数字は、拡張項目のIDです。

「東京都」を選択している場合は、下記のように表示されます。

```
{$topicsData.ext_col_09} → 13
```

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='09' ext_type='value'} → 東京都
```

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3. テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-7 ファイル

```
<a href="{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='10'  
ext_type='url'}">{$topicsData.ext_col_10}</a>
```

赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を、url と指定してください。

{topicsData.ext_col_10} には入力した「ファイル名」が表示されます。

ファイル名を入力しない場合は、任意の文字と置き換えてください。

（例）

```
<a href="{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='10' ext_type='url'}">ファイルダウンロード  
はこちら</a>
```

◆ファイル容量表示

```
{assign_topics_ext id='10' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight var='fileData' ext_type='filesize'}  
<p>ファイルサイズ: {$fileData}</p>
```

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3. テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-8 テーブル

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='11' ext_type='table'}
```

赤の数字は、拡張項目のIDです。 ext_type の値（青い部分）を table と指定してください。

※HTMLにクラス等を加えたい場合は、下記のソースを使用してください。こちらでも表示可能です。

```
{assign_topics_ext ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='11' ext_type='cells' var='ext_column'}
<table>
  {foreach from=$ext_column.show_value item=row name=ext_table}
    <tr>
      {foreach from=$row item=cell name=ext_cell}
        {if $cell.tag == 'th'}
          <th>
        {else}
          <td>
        {/if}
        {if $cell.lock}{$cell.constant}{else}{$cell.value}{/if}
      </{$cell.tag}>
    {/foreach}
  </tr>
{foreach}
</table>
```

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト（概要付）】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-9 地図

◆iframe でページ内に表示

```
<iframe id="googlemap" src="{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='12' ext_type='gmap_url' width='300' height='250'}" name="googlemap" marginheight="0" marginwidth="0" frameborder="0" width="300" height="250"></iframe>
```

赤の数字は、拡張項目のIDです。ext_type の値（青い部分）を gmap_url と指定してください。
地図の表示サイズは、2か所指定してください。

◆googlemap へのリンク

```
{assign_topics_ext ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='12' ext_type='value' var='gmap_val'}  
<a  
href="http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&q={$gmap_val.gmap_y},{ $gmap_val.gmap_x}&z={$gmap_val.gmap_zoom}&t=m" target="_blank">googlemap</a>
```

赤の数字は、拡張項目のIDです。ext_type の値（青い部分）を value と指定してください。

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-10 関連情報

◆記事

```
{assign_topics_extrel var="ext_top" topics=$topicsData no="19"}  
{ $ext_top.subject}  
{ $ext_top.contents}  
{ $ext_top.ext_col_01}  

```

(←この1行は必ず必要です)
(←関連記事のタイトル)
(←関連記事のWysiwyg)
(←関連記事の拡張:単品)
(←関連記事の拡張画像:単品)

◆関連させている記事の拡張設定がグループ(繰り返し)の場合

```
{assign_topics_extrel var="ext_top" topics=$topicsData no="19"}  
{assign_topics_ext var=group01_04 id='04' ext_type='group'  
ext_columns=$ext_top.ext_columns.straight}  
{assign_topics_ext var=group01_04_text id='04' ext_type='value'  
ext_columns=$group01_04.0}  
{assign_topics_ext var=group01_03_image id='03' ext_type='url'  
ext_columns=$group01_04.0}  
  
{ $group01_04_text}  
{ $group01_03_image}
```

(←この1行は必ず必要です)
(←この1行は必ず必要です)

(←表示させたい拡張をセット)
(←表示させたい拡張をセット)

(←関連記事の拡張)
(←関連記事の拡張画像)

赤の数字は、拡張項目のIDです。

紫の数字は、関連させている記事の拡張項目IDです。

オレンジの数字は、関連させている記事の、グループ設定で親になっている拡張項目のIDです。

ext_type は、適宜変更してください。(各項目のグループ表示方法参照)

3. テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-10 関連情報のつづき

◆メンバー

```
{assign_topics_extrel var="ext_member" topics=$topicsData no="20"}  
{ $ext_member.disp_name}  

```

（←この1行は必ず必要です）

（←メンバーの名前）

（←メンバーの写真）

◆自由HTML

```
{assign_topics_extrel var="ext_top" topics=$topicsData no="21"}  
{ext_top.contents}
```

（←この1行は必ず必要です）

（← Wysiwyg ）

3.テンプレート上の表記方法（単品表示）

3-11 音声ファイル

```
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='15' ext_type='audio'}
```

赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)を audio と指定してください。

※「キャプション」の表記方法は 3-1テキストエリア と同じで {\$topicsData.ext_col_12|nl2br} です。

※登録可能な音声ファイルは、mp3 と m4a です。

※注意！ \$topicsData の部分は、各テンプレートによって下記のように変更してください。

【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-1 基本形サンプル

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
```

（←この1行は必ず必要です）

```
<h2>{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='01' ext_type='ext_parent_col_nm'}</h2>
```

（←親項目）

（←親項目）

```
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
```

（←foreach 開始）

（↓ここから表示したい拡張IDを全てセットする）

```
{assign_topics_ext var=val01 id='01' ext_type='value' ext_columns=$cols}
```

```
{assign_topics_ext var=url02 id='02' ext_type='url' ext_columns=$cols}
```

この間に表示させたい拡張を
セットしてください。

拡張の種類によって表記が
異なりますので、詳細な設定
方法は次ページ以降を
ご参照ください。

（↓ここからが実際に繰り返し表示されるソースです）

```
<h3> {$val01}</h3> （←店名）
```

```
<p></p> （←写真）
```

タグは自由につけられます。

```
{/foreach}
```

（← foreach 終了）

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。
赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)は、それぞれ拡張の種類
によって異なります。

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='01' ext_type='ext_parent_col_nm'} で親項目の表示ができます。

（ここでいう「店舗情報」）

{ \$val01 } → 拡張項目ID1 が表示されます。 val01 の部分は、var で設定した値を書いてください。

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-2 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・複数選択・日付・都道府県・html

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=val01 id='01' ext_type='value' ext_columns=$cols}
    {assign_topics_ext var=val02 id='02' ext_type='value' ext_columns=$cols}

    {$val01}
    {$val02}

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を value と指定してください。

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-3 選択形式

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=val04 id='04' ext_type='value' ext_columns=$cols}

    {$cols.04.value}
    {$val04}

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を value と指定してください。

{\$cols.04.value} → 左側の値 apple

{\$val04} → 右側の値 リンゴ

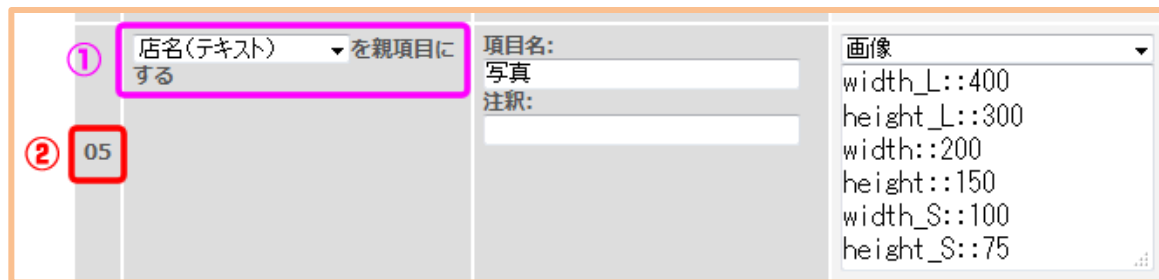
4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-4 画像

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
  {assign_topics_ext var=url05 id='05' ext_type='url' ext_columns=$cols}
  {assign_topics_ext var=url05_S id='05' ext_type='url_S' ext_columns=$cols}
  {assign_topics_ext var=url05_L id='05' ext_type='url_L' ext_columns=$cols}

{/foreach}
```



①紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

②赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)を サイズごとに 「url」 「url_S」 「url_L」 と指定してください。

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-5 リンク

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=url07 id='07' ext_type='url' ext_columns=$cols}
    {assign_topics_ext var=val07 id='07' ext_type='value' ext_columns=$cols}

    <a href="{ $url07 }">{ $val07 }</a>

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。
赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を、「url」とすると url が
「value」とすると title がセットされます。

【入力画面】

url:	<input type="text" value="http://www.r-cms.jp/"/>	← url
title:	<input type="text" value="ニュースはこちら"/>	← value

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-6 ファイル

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=url10 id='10' ext_type='url' ext_columns=$cols}
    {assign_topics_ext var=val10 id='10' ext_type='value' ext_columns=$cols}

    <a href="{ $url10}">{$val10}</a>

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。
赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を
「url」とするとアップしたファイルのパスが
「value」とすると ファイル名 がセットされます。

【入力画面】

ファイル ← url

↑ ファイルを差し替える

☐ 削除する

ファイル名: 2010年度資料

← value

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-7 テーブル

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=table11 id='11' ext_type='table' ext_columns=$cols}

    {$table11}

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。
ext_type の値（青い部分）を table と指定してください。

※HTMLにクラス等を加えたい場合は、下記のソースを使用してください。こちらでも表示可能です。

```
<table cellpadding="6" cellspacing="1">
    {foreach from=$table11_2.show_value item=row name=table11}
    <tr>
        {foreach from=$row item=cell name=ext_cell}
            {if $cell.tag == 'th'}<th>{else}<td>{/if}
            {if $cell.lock}{$cell.constant}{else}{$cell.value}{/if}
        </{$cell.tag}>
        {/foreach}
    </tr>
    {/foreach}
</table>
```

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-8 地図

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=gmap12 id='12' ext_type='gmap_url' ext_columns=$cols width='300' height='250'}

    <iframe id="googlemap" src="{ $gmap12}" name="googlemap" marginheight="0" marginwidth="0"
frameborder="0" width="300" height="250"></iframe>

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を gmap_url と指定してください。

地図の表示サイズは、2か所指定してください

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-9 関連

◆記事

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}

    {$val13.topics_id} （関連記事の記事ID）
    {$val13.subject} （関連記事のタイトル）
    {$val13.ext_col_02} （関連記事の拡張:設定が単品の場合）
     （関連記事の拡張画像:設定が単品の場合）

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

オレンジの数字は、関連させている記事の拡張項目IDです。

ext_type の値(青い部分)を data と指定してください。

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-9 関連 のつづき

◆関連させている記事の拡張設定がグループ（繰り返し）の場合

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}
    {assign_topics_ext var=group01_03 id='03' ext_type='group' ext_columns=$val13.ext_columns.straight}
    {assign_topics_ext var=group01_03_text id='03' ext_type='value' ext_columns=$group01_03.0}
    {assign_topics_ext var=group01_04_image id='04' ext_type='url' ext_columns=$group01_03.0}

    {$group01_03_text} （関連記事の拡張: 1つ目が表示されます）
     （関連記事の拡張画像: 1つ目が表示されます）

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

緑の数字は、関連させている記事の、グループ設定で親になっている拡張項目のIDです。

オレンジの数字は、関連させている記事の拡張項目IDです。

ext_type の値（青い部分）は適宜変更してください。

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-9 関連 のつづき

◆メンバー

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}

    {$val13.disp_name}
    

{/foreach}
```

◆自由HTML

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}

    {$val21.contents}

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を data と指定してください。

4. テンプレート上の表記方法（グループ表示）

4-10 音声ファイル

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=audio15 id='15' ext_type='audio' ext_columns=$cols}
    {assign_topics_ext var=val15 id='15' ext_type='value' ext_columns=$cols}

    {$audio15}
    {$val15}

{/foreach}
```

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値（青い部分）を

「audio」とすると 音声ファイル が

「value」とすると キャプション がセットされます。

5.入力があったら表示させる方法

5-1 単品表示の時

◆ {\$topicsData.ext_col_01} で表示させているもの

```
{if $topicsData.ext_col_01}
  <p>{$topicsData.ext_col_01}</p>
{/if}
```

◆ assign で表示させているもの 【方法A】block_topics_ext で囲む

```
{block_topics_ext ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'}
  <p>{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'}</p>
{/block_topics_ext}
```

※ext_type の値(青い部分)は、拡張の種類によって変更してください。

※画像の場合は、<p></p> と書いてください。

◆ assign で表示させているもの 【方法B】assignする

```
{assign_topics_ext id='03' ext_columns=$topicsData.ext_columns var='file_url' ext_type='url'}
{if $file_url}
  <p>{$file_url}</p>
{else}
  <p>登録なし</p>
{/if}
```

※ext_type の値(青い部分)は、拡張の種類によって変更してください。

※{else} のあとに、登録がなかった場合に表示させたいものを書くことができます。(省略可)

※file_url は 好きなものに変更可能です。

※画像の場合は、 と書いてください。

5.入力があったら表示させる方法

5-2 グループ表示の時

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}

    {assign_topics_ext var=val01 id='01' ext_type='value' ext_columns=$cols}
    {assign_topics_ext var=val02 id='02' ext_type='value' ext_columns=$cols}
    {assign_topics_ext var=url09 id='09' ext_type='url' ext_columns=$cols}

    {if $val01}
        <h2>{$val01}</h2>
    {/if}

    {if $url09}
        <p></p>
    {/if}

{/foreach}
```

※表示に使う {\$var01} などに、if をつけて使ってください。